

建築用除菌防菌剤

カビニゲール除菌剤

系 統 アルコール系除菌剤(薬剤配合)

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特 長

- 1) 建築物のカビ汚染部用除菌剤としての効果が優れています。
- 2) 広範囲のカビに効力を発揮します。
- 3) 浸透力が高く、薬剤がカビ汚染部に深く浸透するため、除菌効果が優れています。
- 4) 処理後水洗いの必要がなく、乾燥も速いので工程期間を短くできます。

使用方法

ローラー、はけによる施工が効果的です。スプレー塗装は避けてください。
 使用量の目安:約70~120g/m²
 軽度の汚染の場合:除菌処理1回
 重度の汚染の場合:除菌処理2回
 結露水など含水率が高い部位:除菌処理3回

※塗替の場合

病院内などでは大量に使用出来ませんので、環境を配慮した場合、清浄なガーゼ、噴霧器(霧吹き)などによる施工が適切です。汚染が著しい箇所に適用してください。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	4L
2 混 合 比	—
3 色	無色透明
4 つ や	—
5 仕 上 が り 感	—
6 塗 料 比 重	0.79
7 溶 剤 比 重	0.79
8 加 熱 残 分	—
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	エタノール イソプロピルアルコール メタノール
11 有 機 則 / 特 化 則	第2種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 アルコール類
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

使用上の注意事項

- 1) 使用に際しては、使用する分だけ缶から出し、余った除菌剤は缶の中に戻さないで下さい。
- 2) 施工に際しては戸窓を開放し、換気ファンでの強制換気などを必ず実施して下さい。
- 3) 原液のまま使用して下さい。
- 4) 保管は直射日光の当たる所を避けてください。
- 5) 体質によってはかぶれる場合がありますので、塗装時はビニール手袋、保護マスク、保護メガネを着用して下さい。
- 6) 本製品は揮発性の高い化学物質を含んでいるため、塗装直後の引渡しの場合は施主様に対し安全性に十分注意を払うよう指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗りたてである旨を表示し、化学物質化敏感症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにして下さい。
- 7) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

(注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。